

「新田会所のすべて、再発見」シンポ

～おおさかの新田開発と新田会所のいろいろを明らかに!!～

近世おおさかにおける新田開発は、安治川開削と大和川付替え後、主に裕福な商人による町人請負の形で盛んに行われ、新田の多くには経営のための豪壮な会所が設けられました。今回のシンポジウムでは、鴻池（東大阪市）、加賀屋（大阪市）、安中（八尾市）、平野屋（大東市）を中心に、おおさかの新田開発と新田会所の多様性を明らかにしたいと思います。



第一部

講演 「新田と新田会所の世界」
井上伸一氏（公益財団法人東大阪市文化振興協会）

講演 「よみがえる平野屋新田会所」
岡村喜史氏（大東市史編纂委員）

第二部

パネルディスカッション

「新田開発と新田会所 その多様性をさぐる」

井上伸一氏（公益財団法人東大阪市文化振興協会）× 岡村喜史氏（大東市史編纂委員）
× 八木 滋氏（大阪歴史博物館）× 安藤 亮氏（安中新田会所跡旧植田家住宅）
（司会）小林義孝氏（大阪春秋編集委員・摂河泉地域文化研究所）

まとめ

「四会所交流ネットワークの活動とこれから」

松田順一郎（鴻池新田会所）

日時 2017年8月6日(日) 午後1時半～4時半
場所 大東市立生涯学習センター「アクロス」4階 多目的室
574-0036 大阪府大東市末広町1-301 ローレルスクエア住道サ
ンタワ内（JR片町（学研都市）線住道駅下車 徒歩3分（住道
駅と連絡通路で直結しています）
参加費 800円（資料代）※「大阪春秋友の会」会員は無料
定員 100名（要申込）
申し込み 7月5日からアクロスに電話
072-869-6505 または FAX 072-870-1405

